

**日没前後の交通事故死 9月以降に大幅増加**

平成28年度 **秋の全国交通安全運動** 平成28年9月21日(水)～9月30日(金)

**黄信号突っ込み、ウィンカーを出さない無理な車線変更、撲滅を！**  
トラック協会も…「ゆっくり走ろう」、「黄色信号で止まります」

2016年9月22日

黄色信号に速度を上げて突っ込み、無理な車線変更するなどの違法走行で知られる「名古屋走り」。啓発キャンペーンを実施した。

名古屋走りは「黄信号は『進め』」、「右左折で方向指示器（ウィンカー）を出さない」、「横断歩道に待つ歩行者を無視する」といったマナーの悪い運転。他地域から転勤などで名古屋市やその周辺に訪れた人は、迷惑で危険な運転に驚き、恐怖を感じることもあるという。免許を取りたてのころはルールを守るが、いつしかこうした運転に切り替わっていく負の連鎖が続いているとの見方もある。

◆**トラック協会も**

県トラック協会名古屋第三支部も21日、「名古屋走り」の追放を宣言し、「ゆっくり走ろう！」などののぼりを掲げたトラックで区内をパレードした。出発式で、支部の男性（62）が、「黄色信号で止まります」などと宣言。警察署長は「港区はトラックの保有台数が県内で最も多い。地域、企業、行政が一体となって安全運転への意識を高めたい」とあいさつした。

**交差点進入時は…**

- ①あわてて行動しない
- ②交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- ③相手は、「避けない」、「止まらない」…かもしれない

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

子供・高齢者は、動く赤信号！

- ◇見られていますよ！ あなたの運転、あなたの作業◇
- ◇危険な運転・危険な作業は、自分・他人の命取りです◇

土・日・祭日は、部活の小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

**駐車場 母親が目を離れたすきに…車の前に出た1歳女兒**  
母親の友人の運転する車にはねられ、死亡

◇車を発進させる場合は…前後左右の安全確認を行いましょ◇

2016年9月22日(木)2時14分

愛知県のスポーツ施設の駐車場で、会社員の男性の長女(1)が、母親の友人の運転する車にはねられ、死亡した。警察によると、長女は、母親の友人の乗用車で現場を訪ねていて、母親と共に車を降りたあと、目を離れたすきに車の前に出て、ひかれたという。警察は、運転していた無職の女性容疑者(36)をその場で逮捕し、当時の状況をくわしく調べている。

**搬送中の救急車、サイレンを鳴らしながら、赤信号の交差点に進入**  
青信号で進入の軽乗用車が衝突

◇緊急車両のサイレンが聞こえないかも？ ラジオのボリュームは、大きくありませんか？◇

2016/09/21 20:37

21日午前7時20分ごろ、京都府の交差点で患者を乗せて緊急走行していた救急車と軽乗用車が衝突しました。この事故で、搬送されていた88歳の女性が右の頬を切るなど、あわせて4人が軽いけがをしました。運転手によりますと、救急車はサイレンを鳴らしながら赤信号の交差点に進入、一方軽乗用車側は青信号だったということで、警察は詳しい事故の原因を調べています。

**左からの車に注意を…(右からの横断歩行者に注意)**  
道路を渡りきれずにはねられたケースが多いのではないかと

2016年9月21日 4時23分

去年1年間に道路を横断中の歩行者が車などにはねられて死亡した事故について、警察庁が分析した結果、左から走ってきた車両にはねられた事故が右からの事故に比べて2倍以上となったことがわかりました。警察庁は、道路を渡りきれずにはねられたケースが多いのではないかととして、21日から始まる秋の全国交通安全運動で、事故防止を呼びかけることにしています。警察庁は、去年1年間に道路を横断中の歩行者が車両にはねられて死亡するなどした718件の事故について分析しました。その結果、歩行者から見て左から走ってきた車両にはねられるなどした事故が486件と、車両が右から走ってきた214件の事故に比べおよそ2.2倍、特に歩行者が65歳以上で夜間の場合には3倍近くに上ったことがわかりました。原因について警察庁は、歩行者がみずからの右側から車両が走ってくる手前の車線を渡ったあと左側から車両が近づいてくる奥の車線を渡りきれずにはねられたケースが多いのではないかとしています。警察庁は、21日から今月30日まで開かれる秋の全国交通安全運動で、早めのライトの点灯や反射材の着用を呼びかけるとともに、お年寄りに年齢による身体能力の低下を自覚してもらって催しを開くなどして事故防止を呼びかけることにしています。